

令和2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 16 日

事務事業名		地球温暖化対策実行計画推進事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	050802000229
						単独/補助	単独		030301
政策体系	総合計画の施策名	0508		生活環境の保全				所属課	生活環境課
	政策名	05		快適な暮らしのまちづくり				課長名	
	施策名	08		生活環境の保全				グループ	環境公害対策G
	手段名	02		②環境保全活動の推進				担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	01	03	02	00	環境衛生事業		
法令根拠						地球温暖化対策の推進に関する法律、桜川市地球温暖化防止対策実行計画策定委員会設置要綱、桜川市地球温暖化防止対策実行委員会設置要綱			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づいて、地球温暖化防止対策実行計画を策定し、市の事務事業に関し、温室効果ガスの排出の抑制等のために必要な施策について、総合的かつ効果的に推進する事業である。 30年度実績4,087t-co2を基準とし、環境基本計画により、10年度(令和11年度)の目標値を3,678t-co2とした。 	<ul style="list-style-type: none"> 《計画(5年間)の策定に伴う業務》 <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止対策実行計画素案の作成 地球温暖化防止対策実行計画策定委員会の開催 地球温暖化防止対策実行計画の策定 《計画実行に伴う業務》 <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止対策実行計画に係る調査等による各課からの基礎データの収集 地球温暖化防止対策実行計画推進委員会の開催 地球温暖化防止対策実行計画の具体的な取組みや達成状況についての職員への周知及び報告 市の事務事業に関する温室効果ガス総排出量等の公表

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
地方公共団体実行計画策定に必要なデータ収集	温室効果ガスの排出量 (t-CO2)	t-co2	4,087.00	4,046.10	4,005.20	3,964.30	3,923.40
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 市の管理する施設 職員数 	市が管理する施設	件	88.00	88.00	88.00	88.00	0.00
	職員数	人	387.00	387.00	387.00	387.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	03年度 (目標)	04年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガスを抑制する計画のために地方公共団体実行計画の策定を行うため 	基準年度からの削減量	t-co2	40.90	40.90	40.90	40.90	40.90
	基準年度からの削減率	%	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度 (実績)	01年度 (実績)	02年度 (計画)	期間限定総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0
		その他	千円	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	0
		事業費計(A)	千円	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)				02年度事業費 予算 (千円)			
			合計	0			合計	0

事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業	事務事業No.	50802000229	所属課	生活環境課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 地球温暖化対策実行計画策定事業により、平成18年度の総排出量を基準年度とし、平成19年に計画、平成20年より実行に移してきたが、平成25年から平成30年までのデータ未収集により比較することができないため、令和元年を基準年度とし新たに温室効果ガス排出量のデータを収集していく。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく事業である。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく事業であり、公共関与は妥当である。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 温室効果ガスの総排出量を算出するための基礎データを収集する。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法的義務であり、世界的問題である地球温暖化防止の推進を廃止することはできない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業なし。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 推進活動を行っていくなかで、削減余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地球温暖化対策は法律上でも国際的な課題であり、市役所全体で取り組むので公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	第2次桜川市環境基本計画の策定を行い、地球温暖化防止対策として、H30年度の実績値4,087t-co2を把握した。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
・次年度からの計画の策定 ・環境保全推進会議の開催による進捗管理を行っていく		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>